

S01-4 光学活性ジエンアセタール類の分子内ハロエーテル化反応を利用する不斉誘導法の開発とその応用

○藤岡 弘道¹

¹阪大院薬

不斉合成反応は光学活性化合物の合成に威力を発揮する優れた手法として多用されるが、今なお、離れた多点に同時に不斉を誘起することは、困難である。我々は、光学活性ジオール由来のアセタールを不斉補助基として持つ光学活性なエンまたはジエンアセタールの分子内ハロエーテル化反応が、高ジアステレオ選択的に進行し、遠隔位の複数の位置に一気に不斉を誘起できることを見出した。本不斉合成反応では、アセタールが形を変えて、生成物中に取り込まれる。更に、このユニットを高位置および高立体選択的変換反応と水酸基の保護基として利用し、数種の生物活性化合物の効率的な不斉合成を行った。本シンポジウムでは、最近の取り組みを中心に紹介する。

